

説教題：「あなたの言葉に気をつけなさい！」

聖書朗読：ヤコブの手紙 3:1-12

1 私の兄弟たち。多くの者が教師になってはいけません。ご承知のように、私たち教師は、格別きびしいさばきを受けるのです。

2 私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。

3 馬を御するために、くつわをその口かけると、馬のからだ全体を引き回すことができます。4 また、船を見なさい。あのように大きな物が、強い風に押されているときでも、ごく小さなかじによって、かじを取る人の思いどおりの所へ持って行かれるのです。

5 同様に、舌も小さな器官ですが、大きなことを言って誇るのです。ご覧なさい。あのように小さい火があのような大きい森を燃やします。6 舌は火であり、不義の世界です。舌は私たちの器官の一つですが、からだ全体を汚し、人生の車輪を焼き、そしてゲヘナの火によって焼かれます。7 どのような種類の獣も鳥も、はうものも海の生き物も、人類によって制せられるし、すでに制せられています。

8 しかし、舌を制御することは、だれにもできません。それは少しもじっとしていない悪であり、死の毒に満ちています。9 私たちは、舌をもって、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌をもって、神にたたどって造られた人をのろいます。10 賛美とのろいが同じ口から出て来るのです。私の兄弟たち。このようなことは、あってはなりません。

11 泉が甘い水と苦い水を同じ穴からわき上がらせるというようなことがあるのでしょうか。12 私の兄弟たち。いちじくの木がオリーブの実をならせたり、ぶどうの木がいちじくの実をならせたりするようなことは、できることでしょうか。塩水が甘い水を出すこともできないことです。

おはようございます、みなさん。またお会いできて嬉しいです。私はヤコブの手紙を通じた一連の説教を行ってきました。これは新約聖書で最も好きな書物です。6月には、この書の1章を扱いました。そこでは、試練の中での忍耐の恵み、信仰によって歩む必要性、誘惑を克服する方法、そして神の言葉に耳を傾け、読むだけでなく、聖書の教えを人生に実践することの重要性など、多様なテーマが取り上げられました。ヤコブは、聖書を聞くだけで実践しないなら、自分のキリスト教生活が問題ないと思い込んでいると自分自身を欺いていると述べています。お願いします：聖書が教えることを実践してください。そうすれば、あなたも祝福され、周囲の人々も祝福されます。

ヤコブの手紙2章では、神の言葉を実践する重要な2つの方法が取り上げられています。最初の方法は、単なる宗教的な言葉に留まらず、実際に困っている兄弟姉妹を実践的な方法で助けることです。2章の2つ目のテーマは、信仰と行いの関係という重大な問題です。私たちは救いのために行うのでしょうか？いいえ、決してそうではありません。しかし、いわゆる「行いを伴わない信仰」は、本当の信仰ではないのではないのでしょうか？本当の信仰は行動します。ヤコブは2章で、悪魔たちは神についての知識を持っている一神が存在することを知っている一が、神に信頼を置かず、従わないと述べています。神が存在す

ることを認めるだけでは、救いの信仰ではありません。本当の信仰は神を信頼し、神に従うのです。

本日は、この書の3章に取り組みます。この章の大部分は、非常に厄介なテーマについて扱っています。本日の説教のタイトルは「あなたの言葉に気をつけなさい！」です。私たちの舌は、本当に厄介な存在です。それは私たちを多くのトラブルに巻き込む可能性があります。人間関係や人々の評判、人々の命さえまで深刻な損害を与えることがあります。あなたの言葉に気をつけましょう。

では、ヤコブの手紙3章の奨励の言葉を見ていきましょう。

パート 1: 教師への警告

ヤコブ 3:1 を読みましょう – 「私の兄弟たち。多くの者が教師になってはいけません。ご承知のように、私たち教師は、格別きびしいさばきを受けるのです。」

より厳しい裁き。教師は、他のクリスチャンよりも神によってより厳しく裁かれるでしょう。これは本当に重大なことなのです。教師には影響力があります。教師は人々の生活に影響を及ぼし、人々の永遠の運命にさえも影響を及ぼすのです。神の言葉について講解し、神の代表者として人々の前に立ち、聖書を解説し、聖書の基準に従って生きるよう人々を励ますことは、重大なことなのです。講壇の上の説教者だけでなく、聖書研究のリーダー達やサンデースクールの教師達も同様に神の言葉に責任を持たされます。私たちは教師として、聖書を正しく扱っていることを確信しなければなりません。教師の責任はどれほど重いことでしょうか！この概念は私にとって深く響くものです：神が、私が講壇で語ったことすべて、そして聖書研究のリーダーとしての役割においても、私を責任追及されることを知っているからです。これは非常に威圧的な考えです。この考えはそれほど威圧的であるため、長い間、教会での教師の役割を引き受けることに躊躇していました。私が教会の指導的役割を引き受ける場合、他のクリスチャンよりも厳しく判断されるでしょう。教会におけるすべてのクリスチャンは、コリント人への手紙 第一 12 章で示されているように、教会奉仕に何かを貢献するために、大小を問わず異なる霊的な賜物を与えられています。また、イエスがマタイの福音書 25 章 14 節から 30 節の「タラントのたとえ」で示しているように、すべてのクリスチャンは異なる能力を持ち、したがって教会奉仕における責任もそれぞれ異なります。私たちは、神が私たちに与えられた能力に応じて、神が召された任務に忠実でなければなりません。そして、神の言葉の教師として召されたクリスチャンにとって、その責任は本当に重大です。私たちは神の名において語り、人々の神に対する考えに影響を与え、彼らが人生で何をするかにも影響を与えるからです。

この問題について考えるとき、教えは概ね正しいものの、時折誤った道に迷い込んだ教師たちの例がいくつか思い浮かびます。その一例は、キリスト教の歴史上の英雄の一人であるマーティン・ルターです。彼は、信仰のみによる義認の原則を再発見し、その普及に貢献することで、プロテスタントの宗教改革の火付け役として神に素晴らしく用いられました。

たが、その原則を時折過度に強調しすぎた面もありました。例えば、彼は救いに関するこの重要な真理を過度に強調し、クリスチャンが1日に100回姦淫を犯しても、それはその人の義認に影響を与えない、と述べたのです。なぜなら、私たちは行ないによってではなく、信仰によって救われるからです。私は、彼のこの発言は明らかに行き過ぎだったと思います。神を知っていると主張しながら繰り返し罪を犯す人は、実際にはまったく神の信者ではないと思います。残念ながら、今日でも、多くの自称クリスチャンは、信仰だけが彼らに求められていることだと考えています。神学校で受講した私の動画講座の一つで、神学者のダグラス・ムーは次のように述べています：「確かに、長年多くのキリスト教徒が信仰のみを過度に強調してきたため、義と聖潔の生活を送ることに無関心になってきたことは事実です。」 良いことへの過度の強調は、望ましくない結果を招く可能性があります。この例では、神の言葉を聞く者でありながら、その言葉を行う者とならないため、実際には救われていないにもかかわらず、自分が大丈夫だと自己欺瞞に陥る可能性があります。これが、ヤコブが書簡の1章で述べた内容です。

教師が語る言葉は、聴き手の人生に大きな影響を及ぼす可能性があり、その人の永遠の救いにも関わるものです。神の言葉の教師は、大きな責任を負っています。

では、本日のメッセージの次の部分に進みましょう...

パート 2: 皆さん、あなたの言葉に気を付けましょう。

次の数節は、私たちの言葉の使い方について多くのことを教えています。この章のこの部分は、教師たちへの勧告として続いているかもしれませんが、私は私たち全員がここから価値あることを学ぶべきだと考え、これらの節は確かに私たち一人一人に適用されるもののように思えます。

ヤコブ 3:2-4 を読みましょう – 「2 私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。3 馬を御するために、くつわをその口かけると、馬のからだ全体を引き回すことができます。4 また、船を見なさい。あのように大きな物が、強い風に押されているときでも、ごく小さなかじによって、かじを取る人の思いどおりの所へ持って行かれるのです。」

2節をもう一度 – 「私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。」

人間は、道徳的、経済的、人間関係など、多くの面でつまづくことがあります。しかし、私たちが話すことで、つまづく方法は独特です。舌は体の一部として小さな部分ですが、私たちが発する言葉は大きな影響を与えることがあります。親は、子供の一生に良い影響も悪い影響も与える可能性があります。私の完璧主義者の父は、私が成長する過程で多く

の批判を与えました。それは私にとって大きな影響を与え、力不足感や臆病さを克服するのに長い時間がかかりました（その物語の詳細は、私の説教「あなたは臆病ですか？」をご覧ください）。私たちの舌は、あらゆるトラブルを引き起こす可能性があります——おそらく、口を使うことがとても容易で、そして私たちが話すことに不注意になるのが、余りにも容易だからでしょう。

2節の後半では、おそらく誰かが言葉遣いでつまづくことを避けることができる理想的な状況が描かれています……そして、そのような人は「完全な」と形容されるかもしれません。この「完全な」という単語は、新約聖書の英語訳では通常「成熟した」という意味で用いられます。成熟した。成熟の兆候の一つは、自分の語る言葉で人を傷つけないことです——もし舌を制御できるなら、全身を制御できる……自分自身を完全に制御できるのです。舌を制御する能力は、自己制御を維持する能力の究極の兆候と見なされるかもしれません。

これは、イエスが言われたことを思い出させます。マタイの福音書 12 章 34 節から 37 節に記されている、イエスがパリサイ人たちに語った言葉を読んでみましょう。－「**34** まむしのすえたち。おまえたち悪い者に、どうして良いことが言えましょう。心に満ちていることを口が話すのです。**35** 良い人は、良い倉から良い物を取り出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を取り出すものです。**36** わたしはあなたがたに、こう言いましょう。人はその口にするあらゆるむだなことばについて、さばきの日には言い開きをしなければなりません。**37** あなたが正しいとされるのは、あなたのことばによるのであり、罪に定められるのも、あなたのことばによるのです。」

36 節をもう一度 －「…人はその口にするあらゆるむだなことばについて、さばきの日には言い開きをしなければなりません。」

人に対して言う言葉には注意してください。神はいつか、その言葉についてあなたの責任を追及されるでしょう。

この箇所では、「…口は心にあるもので語る」と述べられていことに注意してください。

あなたの心は何で満たされていますか？ 良い、神聖な考えですか？ 悪意のある考えですか？ 他者への批判ですか？ 癒されていない傷や失望ですか？ 私は長い間、心に負の考えを抱えることを避けるように学んできました－それらは毒であり、もしそのような考えが口から出れば、人を傷つける可能性があります。私はそれを避けるように努めています。心を良い、神聖な考えで満たすことは良いことです。

ピリピ 4:8 は私にとって長年特別なものでした。その節で、使徒パウロは言います－最後に、兄弟たち。すべての真実なこと、すべての誉れあること、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと、そのほか徳と言われること、称赞に値することがあるならば、そのようなことに心を留めなさい。」

これらのことを深く考えなさい。あなたの心を次のようなことに集中させてください：真実で、尊く、正しく、清らかなものなど。イエスは、心の中に持っている良い宝物は、言葉として表れると言っています。私は、ピリピ4章8節に記された前向きな考えで心を満たすように努めてきました。

では、ヤコブ3章2節から4節に戻しましょう。舌を制御することができれば、自分自身全体を制御することができるのです。多くの点で、この小さなもの、舌が、私たちをある方向へ導くのです。ヤコブは、小さなものが大きなものを導く例をいくつか挙げています。3節では、「馬を御するために、くつわをその口にかけてと、馬のからだ全体を引き回すことができます」と述べています。4節では、「また、船を見なさい。あのように大きな物が、強い風に押されているときでも、ごく小さなかじによって、かじを取る人の思いどおりの所へ持って行かれるのです。」と述べています。

馬の口にある小さな部分（くつわ）が、私たちに馬を操ることを可能にします。船の小さな舵が、船長がその巨大な船を望む方向へ操縦することを可能にします。もし私たちが舌を制御することができれば、私たち自身の方向を導くことができるので、そしてそれで私たちの人生の方向も制御できるのです。

ヤコブは説明を続けます。5-6節－「5同様に、舌も小さな器官ですが、大きなことを言うて誇るのです。ご覧なさい。あのように小さい火があのような大きい森を燃やします。6舌は火であり、不義の世界です。舌は私たちの器官の一つですが、からだ全体を汚し、人生の車輪を焼き、そしてゲヘナの火によって焼かれます。」

ここでは、舌は火に例えられています。小さな炎でも、森全体を燃やすことができます。不注意に捨てられた一本のタバコから、どれだけの森林火災が発生したのでしょうか？非常に多くの火災が発生したと聞いています。6節では、舌は火であり、邪悪な世界そのものであり、この小さなものが私たちの全身を汚すだけでなく、地獄の力さえも、私たちの舌を破壊的な方法で使用させる可能性があることが示されています。私たちの舌が引き起こす火の嵐とは、なんと恐ろしいものなののでしょうか！

パート3: 誰も舌を制御することはできない－それは絶えず動いている悪である。

この節のタイトルを「舌を制御せよ——それは絶えず動いている悪である」と付けようと思いましたが。しかしヤコブは明確に、誰もそれを完全に制御できないと述べています。しかし、私たちの生活に混乱を引き起こすその潜在的な力を抑える必要があるのです。

ヤコブ3:7-8－「7どのような種類の獣も鳥も、はうものも海の生き物も、人類によって制せられるし、すでに制せられています。8しかし、舌を制御することは、だれにもでき

ません。それは少しもじっとしていない悪であり、死の毒に満ちています。」私たちはあらゆる種類の動物を飼いならすことができます。すべてを飼いならすことはできなくても、動物園や水族館で展示することはでき、サーカスで演技させることもできます。野生動物を飼いならすことはできますが、私たちの口の中のこの野獣は飼いならすことはできません。それは落ち着きのない悪です。落ち着きがない—時には、私たちは舌を野放しにして、人間関係や評判を台無しにしてしまうことがあります。

8-10 節 – 「8 しかし、舌を制御することは、だれにもできません。それは少しもじっとしていない悪であり、死の毒に満ちています。9 私たちは、舌をもって、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌をもって、神にかたどって造られた人をのろいます。10 賛美と のろいが同じ口から出て来るのです。私の兄弟たち。このようなことは、あってはなりません。」

兄弟姉妹の皆さん、このような状況はあってはならないのです！

時々、私たちは教会に行き、適切なキリスト教徒としての振る舞いをしますが、礼拝が終わるとすぐに、誰かに対する批判や、何らかのことで口論が起こるかもしれません。私たちの同胞であるすべての人間は、神の似姿として創造されました——なぜ兄弟姉妹に対して悪意を持って話すことができるのでしょうか？謙虚さを示してください——あなたもまた不完全であることを忘れないでください。それを忘れないように決意する時、神の助けが与えら、変えられていくことを実感し、喜びと神への感謝が溢れるでしょう。

11-12 節 – 「11 泉が甘い水と苦い水を同じ穴からわき上がらせるというようなことがあるのでしょうか。12 私の兄弟たち。いちじくの木がオリーブの実をならせたり、ぶどうの木がいちじくの実をならせたりするようなことは、できることでしょうか。塩水が甘い水を出すこともできないことです。」

ヤコブはさらにいくつかの例を挙げてくれます。これらは興味深いものです。噴水は、新鮮な水と苦い水を同時に生み出すことはありません。イチジクの木は、イチジク以外の果実を生むことはありませんよね？塩水は真水を生み出すことはできません。したがって、私たちの口は、一瞬で美しい言葉と醜い言葉を吐き出すべきではありません。それは一貫性がない……それはあるべき姿ではありません。私たちは言葉でキリスト教の兄弟姉妹を励ますべきであり、彼らを傷つけるべきではありません

パート 4: 知恵対傲慢

説教を始める前に聖書朗読を行った際、私は皆様に 1 節から 12 節までを読み上げました。今日のお話を始める際に、この「舌の問題」が皆様の心に新鮮な状態で残っているようにしたかったからです。なぜなら、この章の大部分は、その厄介な性格について扱っているからです。しかし、今から 3 章の残りの節を朗読したいと思います。これらの節のテーマは、私たちの言葉に関する問題と関連していることがお分かりいただけるでしょう。

ヤコブ 3:13-18 – 「13 あなたがたのうちで、知恵のある、賢い人はだれでしょうか。その人は、その知恵にふさわしい柔和な行ないを、良い生き方によって示しなさい。14 しかし、もしあなたがたの心の中に、苦いねたみと敵対心があるならば、誇ってはいけません。真理に逆らって偽ることになります。15 そのような知恵は、上から来たものではなく、地に属し、肉に属し、悪霊に属するものです。16 ねたみや敵対心のあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行ないがあるからです。17 しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。18 義の実を結ばせる種は、平和をつくる人によって平和のうちに蒔かれます。」

あなたは賢いですか？理解力がありますか？もしかしたら私はこれらの理想に及ばないかもしれませんが、それでも私は 13 節の教えに従い、良い行いによって生きようとしています。その行いは、知恵の優しさの中で行われるものです。その表現が私を惹きつけます：「知恵の優しさの中で行われる行い」。The New International Versionはこの表現を次のように訳しています：「知恵から来る謙遜さによる行い」。真の知恵は、謙遜さと優しさで特徴付けられる良い行いへと導きます。

神学者ダグラス・ムーは、ヤコブの手紙に関する解説で次のように述べています：

ヤコブは、これらの人の「知恵」の主張を神学的な観点から評価するのではなく——彼らがどの程度の教義を知っているか、どのくらいのギリシャ語の動詞を分析できるか——実践的な観点から評価します：彼の良い生活によって、知恵から来る謙遜さによる行いによって、それを示せ。... 「彼に示せ」という挑戦は、ヤコブが 2 章 18 節で「信仰と行いを分離できると考える信者」に対して投げかけた挑戦を想起させます：「行いのない信仰を見せてください。[そして私は行いによって私の信仰を見せてあげます]」。実際、ヤコブがここで適用する真の知恵の試練は、手紙の冒頭で触れた重要な概念を拾い上げています：謙遜の重要性（1:21）と善行（2:14-26）。「善行」こそが、知恵を示す基盤であるとヤコブは強調します。... 神への従順な行為を、日ごとに一貫して行うことが、賢者の「善行」を構成するのです。

14-15 節でヤコブは、14-節から 15 節で、知恵の優しさで行われる行いの反対について説明しています。－「14 しかし、もしあなたがたの心の中に、苦いねたみと敵対心があるならば、誇ってはいけません。真理に逆らって偽ることになります。15 そのような知恵は、上から来たものではなく、地に属し、肉に属し、悪霊に属するものです。」

敬虔な天的な知恵と、地上の悪魔的な知恵があります。神はキリスト教徒に聖霊を与え、私たちの心を刷新し、敬虔な行動へと導いてくださいます。しかし、私たちはしばしば古い習慣に陥り、この墮落した世界や墮落した性質から生まれる考えに囚われ、サタンの欺瞞に駆り立てられ、誘惑されることがあります。あなたの心には何がありますか？そこには苦い嫉妬がありますか？自己中心的な野心がありますか？もしあなたの心を満たしてい

るのがそのようなものなら、それらが存在しないかのような振りをしてはいけません。もしそうするなら、ヤコブはあなたが真実に対して嘘をついていると言っています。それは傲慢の極みです。

この説教のパート 4 を「知恵対傲慢」と題しました。私たちは心に対して正直でなければなりません。心を良いもので満たし、神から来る知恵で満たし、聖霊に導かれるべきです。もし別の道を選ぶなら、それは地上的で自然的な思考の道、サタンの道さえを選ぶことになります。覚えておきましょう。悪魔は蛇を通じて語り、アダムとエバに神に反逆するよう促したのです。ヨハネの福音書 8 章 44 節で、イエスは自分に対抗するユダヤ人たちにこう言いました：「44 あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。」47 節：「神から出た者は、神のことばに聞き従います。ですから、あなたがたが聞き従わないのは、あなたがたが神から出た者でないからです。」私たちは、聖書のページに記された天の知恵に従い、神の言葉を聞く者となるようにしましょう。

ヤコブ 3:17-18 – 「17 しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。18 義の実を結ばせる種は、平和をつくる人によって平和のうちに蒔かれます。」

天からの知恵はまず**純粹**です——つまり、聖なるもので、罪から分けられ、汚れから解放されています。次に、**平和を愛する**ものです——神との平和と、隣人との平和を求めます。また、**柔和**です——この言葉には、妥協のない節度、弱さのない柔和さが含まれています。この知恵は**道理**にかなっています。——これは、神が啓示されることを聴き、考え、祈り、自発的に従います。天からの知恵は、**慈しみに満ちており……良い実りに満ちており……確信に揺るぎなく……偽りがない**（その人は正直で真摯であり、品格を備えている）。そして、18 節で言及されているように、その結果の実りは**義**であり、それは「平和をつくる人によって平和のうちに蒔かれます」ものである。

私が古代教会を研究していた際に聞いた、私のお気に入りの古代の知恵の一つが、この古いスローガンです：**私たちは平和と悔い改めの生活を送るべきです。平和と悔い改めの生活を送るべきです。**実際、キリスト教の生活をこの二つの原則に要約することができるでしょう：神との**平和**と人間同士の平和、そして神から私たちを隔てるもの、人間同士を隔てるものからの**悔い改め**。**平和と悔い改めの生活を送るよう**にしましょう。